



2021年に大きな反響を呼んだ「クラシック・キャラバン」が今年も広島文化学園HBGホールで開催されます！プログラム前半は協奏曲の名曲集。日本を代表する豪華ソリストが一堂に会し、それぞれの得意とするレパートリーを披露します。また後半は我が国のオペラ界を担う歌手4人が集結。オペラの名場面を高らかに歌い上げます。指揮は国内外で活躍し高い評価を得ている飯森範親、司会にはテレビ番組でお馴染みの高橋克典を迎え、お届けします。ここでしか実現できない豪華絢爛の一夜をお楽しみ下さい！



**飯森範親 (指揮)**  
Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮。現在、パシフィック フィルハーモニア 東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任予定。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



**新倉瞳 (チェロ)**  
Hitomi Nikura, Cello

桐朋学園大学音楽学部を首席卒業。バーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga各氏に師事。在学中EMI Music JapanよりCDをリリースしデビュー。受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオークラ音楽賞、第19回(2020年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 チェロ部門受賞。現在カメラータ・チューリッヒのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に幅広く活動。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたMatteo Goffriller (1710年製)。



**アレッサンドロ・ベヴェラリ (クラリネット)**  
Alessandro Beverari, Clarinet

1988年ヴェローナ生まれ。2009年国立ヴェローナ音楽院を最優秀で卒業後、ピアチェンツァ音楽院、ジュネーブ高等音楽院、ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院にて研鑽を積む。2018年第4回ジャック・ランソロ国際コンクール優勝、併せて聴衆賞・浜中賞を受賞。2019年第16回チャイコフスキー国際コンクール木管楽器部門ではクラリネット奏者として最高位となる第3位に入賞。このほか東京音楽コンクール、ヤナーチェク国際コンクール等数々のコンクールで優勝している。これまでにバオロ・ベルトラミニ、ロマン・ギュイオ、アレッサンドロ・カルボナーレの各氏に師事。東京フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者。



**山下牧子 (メゾ・ソプラノ)**  
Makiko Yamashita, Mezzo Soprano

広島大学教育学部を経て東京藝術大学大学院修了。オペラでは、二期会『蝶々夫人』スズキ、『イドメネオ』イダマンテ、日生劇場50周年・読売日響50周年・二期会創立60周年記念『メデア』(日本初演)クレオサ、新国立劇場『リゴレット』マッダレーナ、『蝶々夫人』スズキ、等に出演する他、2021年から2022年にかけて、新国立劇場『夜鳴きうぐいす』死神、『イオラント』マルタ、『ニュルンベルクのマイスターズinger』、『さまよえるオランダ人』、『魔笛』と立て続けに出演、好評を博した。またコンサートでも、ジョン・ミンファン指揮ロッシェニ「スターバト・マテル」、マーラー「復活」、A.バツティスターニ指揮ヴェルディ「レクイエム」等のソリストとしても活躍している。二期会会員。



**隠岐速人 (テノール)**  
Hayato Oki, Tenor

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。国際マリオランツァコンクールファイナリスト、日伊声楽コンクールソ入選、アルタムーラ/カルーソヴォイスコンペティションファイナリスト。これまでに『ラ・ボエーム』、『仮面舞踏会』、『椿姫』等のオペラに出演するほか、モーツァルト『ハ短調ミサ』、ベートーヴェン『第九』等にもソリストとして出演している。2021年オペラユニット“カントキューブ”のメンバーとしてキングインターナショナルよりCD「LOVE」をリリース。



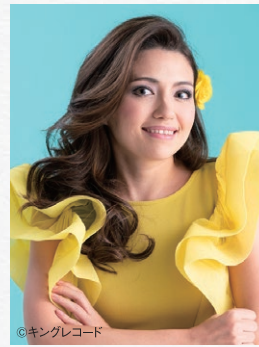
**正戸里佳 (ヴァイオリン)**  
Rika Masato, Violon

広島市に生まれ、17歳でバガニニ国際ヴァイオリンコンクール第3位を受賞した若手ヴァイオリニスト。正戸里佳は、長くパリを拠点にしながら、国際的に活動を展開している。幅広いレパートリーを持つが、特にフランス音楽には定評があり、「正戸里佳のドビュッシーとラヴェルには特別な音がある」と讃えられている。正戸里佳が一番大切にしているのは「歌」である。高度なテクニックと深い音楽性に支えられた「歌」が、世界の聴衆を魅了している。



**仲道郁代 (ピアノ)**  
Ikuyo Nakamichi, Piano

国内はもとより海外でも活躍、名実ともに日本を代表するピアニスト。CDはレコードアカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタと協奏曲全集」他、名盤多数。ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to2027 リサイタル・シリーズ」を展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭大賞を受賞。



**コロンえりか (ソプラノ)**  
Erika Colon, Soprano

聖心女子大学・大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院を優秀賞で卒業。同年ウィグモアホールデビュー。モーツァルト・フェスティバル(ブリュッセル)、宗教音楽祭(フィレンツェ)、日英交150年記念メサイア(ロンドン)でソリストを務めるなどオラトリオの分野に力を注ぐ。代表作は、父エリック・コロンの平和への願いを込めて作曲した「被爆のマリアに捧げる讃歌」。東日本大震災以降、エル・システマジャパンの立ち上げから、ホワイトハンドコーラス設立にも携わり、耳の聞こえない子どもを含む様々な障害を持つ子どもたちに音楽を教えている。現在エルシステマ・コネクト代表理事、ホワイトハンドコーラス NIPPONの芸術監督を務めている。



**青山貴 (バリトン)**  
Takashi Aoyama, Bariton

東京藝術大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研究所修了後、渡伊。これまでオペラでは、二期会『ナブッコ』タイトルロール、日生劇場『魔笛』パパゲーノ、びわ湖ホール『ラインの黄金』及び『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人等で出演。昨年は新制作で話題を呼んだ、新国立劇場『ニュルンベルクのマイスターズinger』にもフリッツ・コートナーで出演した。またコンサートでも、ハイドン「天地創造」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等ソリストとしても活躍。2022年はびわ湖ホール『バルジファル』アムフォルタス、『ファルスタフ』タイトルロール、大阪国際フェスティバル「泥棒かささぎ」フェルナンドにて出演。二期会会員。



**高橋克典 (司会)**  
Katsunori Takahashi, MC

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。俳優として『サラリーマン金太郎』などのヒット作を得る。最近では2020年大河ドラマ『麒麟がくる』、22年NHK『正直不動産』に出演。22年秋NHK朝ドラ『舞いあがれ!』に出演予定。出演映画22年5月『20歳のソウル』、22年8月『パイオレンスアクション』公開中。BSテレビ東京『ワタシが日本に住む理由』レギュラー出演中。